

編輯室の内外

秋景漸く冬景に變し、木葉盡く樹枝を脫し人影地に在り仰いで明月を見て之を樂しむと云ふが如き風雅は味ふべくもなく只砲々攻々として編輯に從事するの身に取つては日月の流れ去ること實に驚くべきものである、文書堆積裡に今度も僅かに一ヶ月を残すのみとなつた、思へば寄稿各位の高授と讀者諸彦の厚庇とによりともかく、十二月號を刊行し得たるの歡喜を満喫じ本年の責務を盡し得たのである。

昭和十二年度の國の歲計豫算は大體其の方針も立ち愈よ其の概數が新聞紙上に報ぜられた夫れに依ると總額は三十億四千萬圓で、財源を國庫に吸收したる爲めにする地方財政調整交付金の二億二千三百萬圓を控除するも尙二十八億一千七百萬圓で前年度の實行豫算二十三億千萬圓に比し實に約五億圓の増加である、非常の時局とはいへ實に驚かざるを得ない膨脹である。

宇内の趨勢は國防費を意外に膨脹せしむるの餘儀なきに至らしめたるのは英國の東洋に於ての日本牽制政策の實現、ソ聯と支

那蔣介石政府との關係、北米の軍事的施設

等に鑑みるとき之を否定することは絶対に許されないのである、夫で陸海軍を合算して十四億萬圓に達し、地方交付金を控除したる二十八億二千萬圓の半額を占めておる、然るに陸相は過日公債の増發憂ふるに足らざる意見を持て居ると傳へらるゝが如何なる根據あるにや。

増稅、煙草の値上、關稅の改正、特別會計の繰入等多方策を講じてあらゆる財源を捻出しても來年度に於ての公債發行額は實に十億圓に垂んとするのである、郵便貯金の利下げ、取引所監督權の廢止、軍需品工業の統制の強行、日銀利下の斷行を施すも果して此巨額なる赤字公債を消化し得るの實力ありや否、金融市場に顯はれたる手持公債の賣出し、國債の市價下落等に徵して新豫算の反映する所に憂慮を禁ずる能はざるものである。若夫れ惡性インフレーションの發生に思ひ到るときに特に財務當局の慎重な考慮を切望せざるを得ない、又彪大なる豫算を取扱ふ軍務當局に對しては深甚なる注意と努力とを以て最も效果的に處理せらるべきの重大なる責任あることを痛感せら

ることを祈る。

秋田の尾去澤鑛山の鑛滓沈澱池堤防の決潰は慘の又慘なる事件である、其の不可抗力に基きたるか經營者の懈怠又は過失に因るものなるかは明白でないが吾曹を以て見れば經營者は勿論監督官廳の責任は決して免るゝことを得ざるものである。元來鑛滓沈澱池の危險なることは専門家を待たずして明瞭なる所である、従つて鑛山經營者は其の施設經營に於て無限的責任を有し、又監督官廳の責任である、實に其の苦き経験に依り將來に備ふる所がなければならぬ慘禍に罹りたる多數者に對しては深甚なる哀悼の意を表するの外なし。(洮)

定價一部	五十	錢	
一ヶ年分	金	六	圓
東京市麹町區外櫻田町一番地内務省內			
發行所	法人道改良會		
編輯者	島良直		
印刷所	東京市小石川區諭訪町五六	電話銀座(57)四二七	
印刷者	奈良直	發行兼	
	效		